

【I】 令和3年度 事業報告

1 法人の現況（令和4年3月末）

- 1) 会員数 正会員 19 名、サポート会員（個人）98 名、（団体） 4 団体
- 2) 従業員数 職員 13 名 パートタイマー 30 名
- 3) 事業の展開状況

令和3年度もまだまだコロナの影響があり、事業を運営するにあたり感染症対策や予防等大変なこともありましたが、ケアプラン、デイサービス、作業所ともにそれぞれができる最大限の支援を行い、事業を進めることができました。令和3年度は「赤い羽根福祉基金」「農山漁村振興交付金」が決定し一層の事業の充実拡大を図ることができました。引き続き、地域の皆様に貢献できる事業をスタッフ一丸となって進めていきたいと考えています。

2 各部門の現況

1) 居宅介護支援事業

○ ケアプランつどい

ア 職員体制

管理者（主任介護支援専門員兼務）1名、主任介護支援専門員1名、
介護支援専門員2名 計4名

イ 事業内容

ケアマネジャー4人で24時間体制を行い、特定事業所加算Ⅱを算定しています。
新規依頼は年間37件で、うち35件が利用開始され、2件が相談のみ等の為未利用。

年間延1785件のケアプランを担当し、そのうち要介護の方が1191件、総合事業の方が594件を占めています。要介護の方が66%占めています。

事業所内では週に1回のミーティングで利用者の共有を行い、ケース検討を月1回行っています。地域包括支援センターや社会福祉協議会、医療関係者等、他職種でかかわるようにしています。また他事業所と研修の機会やケース検討会を年2回実施しており、事業所内・事業所外研修についてはオンライン研修中心で積極的に参加するようにしています。感染予防対策、BCP策定への取り組みを重点的に行いました。

介護 1,191 件、総合事業 594 件 計 1,785 件

2) 通所介護事業

① デイサービスつどい

ア 職員体制

管理者（生活相談員兼務）1名、生活相談員（介護職員兼務）1名、看護師3名
介護職員4名、送迎職員1名

イ 事業内容

民家を再活用したデイサービスを実施して11年目に入り、現在のときわ亭に移って4年目を迎えることになりました。現在は定員30名の通常規模通所介護で運営しています。

自宅で過ごしているような雰囲気のとときわ亭では、利用者様が住み慣れた地域で、安心して在宅生活を継続できるようなプログラムを提供しています。日常の家事作業はもちろんのこと、野菜作りや大工仕事、お菓子作りなど利用者様がこれまで培ってこられた経験を生かしていただけるように、利用者様主体で活動することを大事に過ごしています。書道やカラオケ、絵画などの趣味活動もさかんです。コロナ禍であるので、カラオケをする際は、マイクのこまめな消毒、時間ごとの換気など、一人一人が感染予防に努めながら楽しまれています。

生活をしている中で、利用者様は「一人で買い物に行けるようになりたい」「夫婦で出かけたい」「一人でトイレに行けるようになりたい」など、在宅生活での不安や夢をそれぞれ持っておられます。こういった声を実現したいという思いから、前年度より個別機能訓練を取り入れています。訓練を始めてから、「台所仕事が好きになった」「ズボン一人であげられるようになった」と、効果を感じられる声が多くあり、利用者様とスタッフの意欲向上に繋がる取り組みとなっています。

地域に根ざす施設として、屋外活動の際には地域の方との交流の機会を図り、ときわ亭が利用者様や地域の皆様の心の拠り所になるよう、職員一同工夫して事業運営をしています。

延利用人数 7,253人

② 七条つどいデイサービス

ア 職員体制

管理者（生活相談員兼務）1名、生活相談員（介護職員兼務）1名、看護師3名、介護職員4名、送迎職員2名

イ 事業内容

七条つどいデイサービスを開所し7年目になり、31名定員の通常規模通所介護で運営しています。

一日の計画を利用者さんと相談して役割を決めています。活動することで会話が増えて仲間作りに繋がり、人との関わりが増えることでやる気も向上するという相乗効果があるからです。

話しやすい空間を作り、同じ高さの目線で自然に話せるように、ゆっくりと寄り添っています。ニーズに耳を傾け日常生活活動として、体操、歩行訓練、調理、畑活動を提供しています。「人の為にもっと役に立ちたい」「社会・地域に貢献したい」という利用者様の思いを大切に、地域のごみ拾い、店舗販売、畑で収穫した野菜を昼食のみそ汁の具にするなど自主性を高めました。

又、残存する身体機能を活かし生活機能維持・向上を図っています。住み慣れた地域、ご自宅で可能な限り自立して暮らせることを目指します。「自分のことは自分でしたい」「いつまでも自分の力で歩きたい」と具体的な目標をたてて個別機能訓練を提供しています。ご本人の能力を発揮するとともに個別の関わりを大切に、職員一同、力を合わ

せて笑顔で活動してまいります。

延利用人数 7,197 人

3) 就労継続支援事業

① B型作業所つどい

コロナ禍が続く中、利用者さん達は毎朝元気な笑顔で通所して来られます。

ハウスでの作業は週2回のホダ木入れから始まり、毎日大きく育つしいたけの収穫、区分け、納品等作業も多岐に至ります。又布勢の蓮田にてハスの開花前の数々の作業に日替わりであちらこちらと走り回る日もあります。体力作りにもなるので、利用者さん達にはどの作業にも携さわって頂き、たくさんの経験を積み重ねて社会とつながりの喜びを感じてもらえたらと思っています。

又、しいたけスープ、蓮の葉茶、蓮生ジャム、フラワーソース、クラッカー、クッキー等の新商品も多くの方々から喜びの声をいただいています。働く喜びや学びを土台に明日への一歩に期待しています。

延利用人数 2,802 人

② 総出事業（つどい100JOB）

働きづらさを抱いておられる方々へ社会参加に一步でも進んでもらえるよう様々な仕事を提供し、職員共に経験や知恵を出し合いこの一年しいたけ栽培や蓮の花・葉・茎の摘み取り作業、その後商品として仕上がるまでの工程にも多くの時間を費やして頂きました。一つ一つが自分達の力によって形となり店頭に並ぶ喜びを感じていただけた事と思います。蓮のシーズンにはカフェロータスでの仕事も増え、接客や軽食作り等を日替わりで担当してもらいました。地域内外の観光客と交流もでき社会参加ができたことで生きがいを感じていただきました。

延利用人数 1,911 人

4) 障がい者等日中一時支援事業（長浜市と米原市の委託事業）

作業所終了後の作業所利用者（18歳以上）さんをお預かりし、安心して過ごせる場の提供とご家族の負担軽減・就労支援を行いました。

延利用人数 221人

5) 高齢者よりあいどころ

今年度も前年同様新型コロナウイルス感染予防のため、活動に制限はかかりましたが感染予防を万全にしながら次の事業を行いました。コロナ禍でできることを試行錯誤しながら閉じこもられてしまわないよう集まって頂きました。

① 七条体幹・ボイストレーニング

密を避けるため間隔と人数制限、マスク着用にて行い、心肺機能を高め免疫力を上げていくことを行いました。

延利用人数：255人

② 布勢あいのたに

週1回布勢の会館をお借りして体幹トレーニングと太極拳を行い、体力つくりと免疫力向上を目標に行いました。

蓮花の最盛期にはカフェロータスの作業にも参加して頂き、社会参加や生きがいつくりの場として頂きました。

延利用人数：1,070人

3. 事業の実施に係る事項

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従業者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
介護保険法 に基づく介 護保険事業	① 居宅介護支援事業 (ケアプランつどい)	R3.4.1 ～ R4.3.31	長浜市 常喜町 874-2	4名	長浜市内及び米原市内 在住の要支援または要 介護者 介護件 1,191 件 総合事業 594 件	20,859
	② 通所介護事業 (デイサービスつどい)	R3.4.1 ～ R4.3.31	長浜市 常喜町 671-1	10名	長浜市内及び米原市内 在住の要支援または要 介護者 年間延べ 7,253 人	40,294
	③ 通所介護事業 (七条つどい)	R3.4.1 ～ R4.3.31	長浜市 七条町 320-4	11名	長浜市内及び米原市内 在住の要支援または要 介護者 年間延べ 7,197 人	47,047
	① 就労継続支援事業 (B型作業所つどい) (総出事業)	R3.4.1 ～ R4.3.31	長浜市 常喜町 885 その他受 託場所	8名	長浜市、米原市内在住 の障がい者 働きづらさを抱えた方 年間延べ 2,630 人	43,897
	② 日中一時支援事業	R3.4.1 ～ R4.3.31	長浜市 常喜町 885	1名	長浜市・米原市内の作 業所利用者(高校卒業 者) 年間延べ 221 人	4
	③ 高齢者活躍よりあいどころ事業 (体幹トレーニング・ときわ亭) (よりあいどころあいのたに)	R3.4.1 ～ R4.3.31	長浜市 七条町 320-4 布勢町 123	2名	地域の65歳以上の高 齢者 年間延べ 1,325 人	1,997

【Ⅱ】 令和3年度 収支決算報告・・・別冊

参考資料・・・P9

令和4年度 事業計画(案)

1 事業方針

- 1) 認定特定非営利活動法人つどいは、定款第3条、第4条、第5条の定めるところにより、地域住民のニーズを把握し、地域に密着した事業展開を継続します。
- 2) 職員数の増加に伴い、組織内のルール作りや管理体制の見直しを図ります。
- 3) 研修計画に沿ってオンライン等も活用し、各職員がスキルアップできるような支援を行います。

2 事業の具体的内容等

1) 居宅介護支援事業

○ ケアプランつどい

① 自立支援の理念を踏まえたケアマネジメント

介護が必要になっても出来ることは自分で続け、住み慣れたまちで自立した生活を送ることができるよう支援していきます。地域資源の活用、地域との連携を念頭にケアプラン作りを行っていきけるようにします。

② 安定した利用者数の確保

新規依頼については、今後も実績を維持していきけるよう丁寧な関りを心掛けます。

③ 信頼関係の構築、情報管理の徹底

利用者とその家族各々の状況や希望を伺い、必要なサービスを提案していくことで信頼関係を構築していきます。また、関係機関には適切な情報提供や共有を行い、個人情報の遵守に努めます。

④ 介護支援専門員の資質の向上

事業所内での会議を週1回継続、ケース検討会を月1回開催し情報の共有や検討を行います。スキルアップのためオンライン等の研修にできるだけ出席し、事例検討も他事業所と協働する機会を引き続き設けることで、ケアマネジャーの質の向上を図っていきます。

⑤ 地域に根差した事業所

西黒田地区の方よりケアプランの依頼があった場合は、地域資源を使い住み慣れた西黒田で暮らしを継続できるよう、できる限り支援していききたいと思えます。

⑥ 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染予防として、訪問や会議等においても感染防止に努めていきます。

⑦ 災害対策、虐待の防止、ハラスメント対策

2) 通所介護事業

○ デイサービスつどい

① 利用者様が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、ひとり一人の心身の状態や自ら設定された目標に向け、専門的なサービスを提供します。

② 利用者様やご家族、地域が抱える生活課題等の解決に向け相談機能の充実を図ります。

③ 求められる支援ニーズに対応するため、サービス提供体制の整備と職員の質の向上につとめます。

④ 地域住民や地域活動に積極的に働きかけ、介護相談や出前講座を実施できる体制づくりに取り組みます。

○ デイサービス七条つどい

- ① 利用者様一人ひとりの心に寄り添うことを大切にして、利用者様を心身ともに支え、優しさ、楽しさ、明るさにあふれた関係を保ちます。
- ② 地域の方との交流、関係機関との連携を図り、理解を深めていただくとともに地域の要望に基づいた愛される施設を目指します。
- ③ 利用者様主体で活動型デイサービスを作り上げます。得意なことを引き出し、意欲を高め安心の居場所づくりに努めます。
- ④ スキルアップを図り、職場内研修の実施と参加率を上げ、知識と技術を高めます。情報共有・職員連携で質の良いサービスを提供します。安定した収入のもと、事故のない運営を目指します。

3) 就労継続支援

○ B型作業所つどい

ネット販売の強化等で「きんたろうしいたけ」「しいたけスープ」「蓮のジャム」「フラワーソース」「蓮の葉茶」等を多くの方に知ってもらう機会に恵まれ、納品先も増えてきました。納品や販売等で利用者様が社会とつながりを持ちながら就労できるような支援を行い、滋賀県の最高工賃を目指します。

利用者様一人一人の個性に寄り添った支援を心掛け、信頼関係を築いていくために、研修等も多く参加し、支援員のスキルアップを目指します。

○ 総出事業

「つどい100JOB」の事業名の元、つどいならではの事業の中から一つでも多くの仕事を創り出し、一人でも多くの働きづらさを抱えた人に働く場を提供することを目標として引き続き事業を進めていきます。

今年度は新商品の蓮の葉・しいたけのパウダー、鮎ずしの飯を使ったクッキーやクラッカー作りを新しいお仕事として行っていきます。前年度から販売を行っている蓮の生ジャム・フラワーソース作りも引き続きお仕事として行います。きんたろうせんべいも道の駅などでの販売が順調なので引き続き製造のお仕事を続けていきます。

体験観光事業も増えていく予定なので、仕事として提供できる幅が広がっていきます。

4) しょうがい者等日中一時支援事業（長浜市と米原市の委託事業）

前年度に引き続き、保護者、お子さんが安心して過ごせるようスタッフ間の情報共有や連携を確実にを行い、事故のないよう支援を行います。

5) 高齢者よりあいどころ

○ 七条体幹・ボイストレーニング

引き続き週1回のトレーニングを行います。コロナ対策をしっかりと行い、高齢者の方々の体力向上、免疫力向上に努めます。

○ 布勢あいのたに

引き続き布勢会館にてトレーニングを行います。コロナ対策をしっかりと行い、高齢者の方々の体力向上、免疫力向上に努めます。

ロータスカフェでの活動にも関わっていただき、楽しみながら生きがいを感じる場となることを目的とします。

6) 助成金

令和4年度赤い羽根福祉基金の継続事業として助成が決定しました。6年前に始めた総出事業を「つどい100JOB」としてより一層充実させていくことができるように事業を進めていきます。

また、令和3年度より農福連携整備事業に農山漁村振興交付金の交付をいただいているので、つどいが行う農福連携が地域活性化につながるような事業展開をしていきます。

地域に根差した法人として、地域の課題に直結した非営利事業の推進、新しい公共の受け皿としての役割を果たすため、今年度も助成金、交付金の申請にはチャレンジを続けていきます。

7) つどいサポーター（賛助会員）について

つどいの活動を一人でも多くの方に知っていただくよう SNS や広報誌で報告し、当法人の趣旨に賛同し、ご協力いただける会員の増加を図ります。

正会員として法人の思いに賛同していただいた方には法人の運営にも関わっていただきご意見等もいただきながら、より良い法人を目指します。

8) 情報の公開について

- ① 「つどい愛」を年間3回以上発行し法人の活動状況等周知を行います。
- ② ホームページを随時更新し、その時々々の旬な法人情報を会員様や地域の皆さんにお知らせします。
- ③ フェイスブックや内閣府 NPO 法人ポータルサイトでのリアルタイムな情報公開と若い年代層のファンづくりに努めます。
- ④ 地域マネー（きんたろうマネー）を充実させ、使いやすくします。

(収益事業数値目標)

内 容	利用者数(人) (年間延べ数)	売上(請求) (単位:千円)	備 考
居宅介護支援 ・要介護(1・2) (3~5) ・総合事業	840 360 516	12,600 6,480 2,270	70人×12月×15,000円 30人×12月×18,000円 43人×12月×4,400円
ときわ亭 デイサービス	7,800	62,400	利用者数1日 25人 25人×26日×12月×8,000円
七条つどい デイサービス	8,112	70,574	利用者数1日 26人 26人×26日×12月×8,700円

B型作業所つどい	3,000	22,500	利用者数(1月あたり) 250 人 250 人(1 月)×12 月×6,500 円 受託収入 250,000 円×12 月
日中一時支援	240	528	通年利用者数 1 人 1 人×20 日×12 月×2, 200 円
七条体幹・ボイストレーニング	240	72	利用者数 1 日 5 人×48 回×300 円
布勢あいのたに	240	72	利用者数 1 日 5 人×48 回×300 円
※利用者数は令和3年度実績を参考に試算			

(第 3 号議案)

定款の変更について

定款第 13 条 この法人に次の役員を置く。

- (1) 理事 「4 人以上 8 人以内」を「4 人以上 10 人以内」に変更
理由・・・法人事業の拡大に対して意見を広く求める体制確立のため

(第 4 号議案)

役員を選任について

令和 4 年度役員名簿 (新任) (案)

役職	氏名	住所
理事	藤居 昇	滋賀県長浜市小一条町 152 番地
理事	中川 京子	滋賀県長浜市八条町 605 番地 4
理事	川村 光世	滋賀県長浜市室町 77 番地 1 ウエストグリーンヒルズ 201